

# 独立行政法人 国際交流基金

令和 3 (2021) 年度 職員定期採用

募 集 要 項



独立行政法人国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、日本の公的な国際文化交流機関として、「国際文化交流事業を総合的かつ効率的に行うことにより、我が国に対する諸外国の理解を深め、国際相互理解を増進し、及び文化その他の分野において世界に貢献し、もって良好な国際環境の整備並びに我が国の調和ある対外関係の維持及び発展に寄与すること」（独立行政法人国際交流基金法第3条）を目的とし、文化芸術交流、海外における日本語教育、日本研究・知的交流等の分野で国際文化交流事業を実施しています。

当基金は、本部（東京都新宿区）のほか国内に3か所（日本語国際センター〔埼玉県〕、関西国際センター〔大阪府〕、京都支部〔京都府〕）の附属機関・支部を持ち、海外24か国・25の海外拠点（うち2か所はアジアセンター連絡事務所）を有しています。

当基金の事業・組織等の詳細については、公式ウェブサイトでもご覧になれます。

(<https://www.jpff.go.jp/j/>)

当基金では、国内外で当基金業務全般に携わる職員（総合職）を次のとおり募集します。

## 1. 募集の概要

(1) 募集職種： 総合職

(2) 採用人数： 15名程度

(3) 採用時期： 令和3(2021)年4月1日

(ただし、内定後、早期勤務開始が可能な方は令和2(2020)年度中に採用し、勤務を開始していただくことがあります。)

(4) 勤務場所： 本部（東京）、国内の支部・附属機関、海外事務所等

(5) 応募資格： 以下ア～オの各条件を満たす方。

ア. 次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当すること。(注1)

(ア) 令和2(2020)年4月から令和3(2021)年3月までの間に4年制大学、大学院（修士、博士）のいずれかを卒業/修了する見込みの方。

(イ) 令和3(2021)年3月31日時点で4年制大学卒業以上の資格を有する方。

イ. 昭和62(1987)年4月2日以降生まれであること。(注2)

ウ. 海外勤務（開発途上国を含む。）及び日本国内転勤が可能であること。

エ. 日本語で全ての業務を支障なく遂行できること(注3)。

オ. 業務で使用できる一定の英語力を有すること(注4、注5)。

注1：出身学校の日本/海外の別、学部や学科の種類、職務経験は問いません。

注2：年齢制限例外事由：長期勤続によるキャリア形成を図る観点から、

若年者等を期間の定めのない労働契約の対象として採用・募集。

注3：国籍は問いません。

注4：スコアや認定証等の写しを提出可能な方は応募書類とあわせてご提出ください。

注5：英語とともに、英語以外の当基金海外事務所所在国の言語能力がある方を歓迎します。

(ただし、採用後の担当業務・分野は特定の言語分野に限定されません。)

※ 資格外の方の応募は無効となりますので、ご了承ください。

## 2. 応募方法

ウェブ上でエントリーをした上で、応募書類をご提出ください。ウェブエントリーと応募書類提出の両方が完了しないと、正式応募にはなりませんのでご注意ください。

### (1) エントリー

下記エントリーサイトからエントリーしてください。

ア. エントリーサイト URL : [https://job.axol.jp/vb/s/jpf\\_21/entry/](https://job.axol.jp/vb/s/jpf_21/entry/)

イ. エントリー開始 : 2020年3月1日(日) 深夜 00:01

ウ. エントリー締切 : 2020年4月9日(木) 正午 12:00

### (2) 応募用紙(当基金指定書式)

上記エントリーサイトのマイページから、ダウンロードして入手してください。

### (3) 提出書類

ア. 「受験申込書」(当基金指定用紙 1/4)

最近3ヵ月以内に撮影した顔写真(横3cm×縦4cm、カラー・白黒不問、裏面に氏名記入)を貼付し「提出書類」欄にチェックしてください。

※ 筆記試験の希望受験地については、東京、大阪のいずれかを選択してください(下記3.(2)イ.参照)。ウェブエントリー時に画面上でご登録いただいたものが、自動的に申込書に印字されます。一度登録すると、変更することができませんので、ご注意ください。なお、大阪会場は受験可能な人数に限りがあるため、希望者多数の場合には、受験地を東京とさせていただく場合がありますので予めご了承ください。

イ. 「履歴書」(当基金指定用紙 2/4)

ア. と同じ顔写真を貼付し、各項目について記入してください。

ウ. 「身上申告・自己紹介書」(当基金指定用紙 3/4)

各項目について記入してください。

エ. 「志望理由書」(当基金指定用紙 4/4)

国際交流基金を志望する理由を記述してください。(自筆。600~1,000字を目安)

オ. 外国語能力を証明する認定証の写し

筆記試験(後述)では英語以外の外国語の試験はありません。

英語及び他の外国語について、語学力を証明するスコアや認定証等をお持ちであれば、参考に致しますので、可能な限り認定証の写しを提出してください。

それぞれの資料の右上に、エントリー時に発行された個人ID番号を記載してください。

※ 提出書類は理由の如何にかかわらず返却しません。

※ 記入の際はボールペンなど黒インクの筆記具を使用してください。

※ ア~エの各項目は指定欄に納まるように簡潔に記入し、別紙の使用や印刷物等の送付は避けてください。ただし、複数の職歴があり、「履歴書」指定用紙の職歴欄が足りない場合は、「職務経歴書」を添付していただいても結構です。

※ 追加送付の書類は受領できませんので、ご了承ください。

### (4) 応募書類の提出

ア. 応募締切 : 2020年4月10日(金) 必着

※ 締め切りを過ぎて届いた書類は受け付けられません。

イ. 提出先 : 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1

独立行政法人国際交流基金 総務部人事課 職員定期採用係

※ 宛先には「定期採用応募書類在中」と朱書きで併記して下さい。

ウ. 提出方法 :

書類提出は郵便・宅配便等による送付に限ります。インターネット、ファックス、持参による提出は受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

### 3. 選考

#### (1) 第一次選考（書類選考）

選考結果は、2020年4月24日（金）を目処に、上記エントリーサイトのマイページにて応募者全員にお知らせします。

#### (2) 第二次選考〔筆記試験（一般教養、英語及び小論文）〕

※ 過去の試験問題、試験のレベル等については公表していません。

ア. 日時（予定）： 2020年5月10日（日） 10：00～15：00

詳細は、第一次選考合格者にマイページにてお知らせします。

イ. 会場（予定）：

第一次選考の結果通知時にお知らせする会場で受験してください。

(ア) 東京：東京大学本郷キャンパス 法文一号館（東京都文京区本郷7-3-1）

(イ) 大阪：国際交流基金関西国際センター（大阪府泉南郡田尻町りんくうポート北3-14）

<https://kansai.jpfi.go.jp/ja/aboutus/access/>

JR 関西空港線・南海空港線「りんくうタウン」駅より徒歩（約20分）または、センターのシャトルバス利用。

ウ. 結果通知：

選考結果は、2020年5月22日（金）を目処にマイページにてお知らせします。試験結果について、個別の照会は受け付けておりませんので予めご了承ください。

#### (3) 第三次選考（一次面接）

ア. 日程：2020年6月1日（月）～2日（火） 予定

詳細は第二次選考合格者にマイページにてご連絡します。

イ. 会場：国際交流基金本部（東京都新宿区四谷1-6-4）

※ 5月7日に上記住所に移転予定。一次選考の書類はこちらの住所には送らないでください。

※ 海外在住の方につきましては、Skypeで面接をお受けいただくことも可能です。詳細につきましては、筆記試験の結果発表後、海外在住の方向けに個別にご案内をいたします。

ウ. 提出物：

(ア) 大学卒業（見込）証明書、大学院修了（見込）証明書（原本）

応募用紙の「履歴書」に記入した全ての大学・大学院について、卒業/卒業見込/修了/修了見込を問わず全ての証明書を提出してください。

(イ) 大学・大学院学業成績証明書（原本）

応募用紙の「履歴書」に記入した全ての大学・大学院について、最近学期までの全期間の証明書を提出してください。

※ 卒業した大学や大学院が海外等のため大学卒業証明書・大学院修了証明書・成績証明書の入手に時間を要する場合や、特定の時期まで卒業見込・修了見込証明書を大学・大学院が発行しない場合（この場合は在学証明書での代用も可）など、止むを得ないと判断される理由により第三次選考当日までに提出できない場合は、(1) 当該証明書を提出できない理由と(2) 当該証明書を別送可能な見込時期を記入した用紙（書式自由）を第三次選考当日に提出してください。提出遅延の理由が正当でないと判断した場合は、選考対象外となります。

**(4) 第四次選考（二次面接）**

- ア. 日程：2020年6月9日（火）～12日（金） 予定**  
詳細は第三次選考合格者にマイページにてご連絡します。  
**イ. 会場：国際交流基金本部（東京都新宿区四谷1-6-4）**

**4. 個人情報の取り扱いについて**

- (1) 国際交流基金（以下、「当基金」という。）は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第59号）（以下「法律」といいます。）を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。基金の個人情報保護への取組については、以下のウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.jpff.go.jp/j/privacy/>
- (2) 利用目的  
当基金は、採用活動に際して、応募書類・面接等により取得した応募者の個人情報を、採用活動及び採用後の人事・雇用管理、採用活動における統計作成目的の範囲内で利用させていただきます。趣旨をご理解いただいた上で、個人情報を提供くださいますよう、お願いいたします。なお、個人情報をご提供いただけない場合は、選考の対象外となる場合がありますので、ご了承下さい。
- (3) 個人情報の安全管理  
個人情報の管理にあたっては、漏洩、紛失、改ざん等がないよう、必要な対策を講じて適切な管理を行います。ご提出いただいた個人情報（応募書類等）は返却いたしません。採用となった方の個人情報については採用後の人事管理資料として利用し、不採用者となった方の個人情報につきましては、当該年度の採用活動終了後、適切な方法により廃棄します。
- (4) 個人情報の第三者への開示・提供  
当基金は、以下のいずれかに該当する場合を除き、個人情報を第三者に開示または提供することはありません。  
ア. 応募者本人の同意があるとき  
イ. 行政機関、他の独立行政法人等、地方公共団体又は地方独立行政法人に保有個人情報を提供する場合において、保有個人情報の提供を受ける者が、法令の定める事務又は業務の遂行に必要な限度で提供に係る個人情報を利用し、かつ、当該個人情報を利用することについて相当な理由のあるとき  
ウ. 専ら統計の作成又は学術研究の目的のために保有個人情報を提供するとき  
エ. 本人以外の者に提供することが明らかに本人の利益になるとき  
オ. その他法令に定めがあるとき
- (5) 個人情報の外部委託  
当基金は、採用活動に際して下記の通り、個人情報の取り扱いを外部に委託することがあります。  
ア. 採用試験の採点・結果作成  
イ. 応募者ご本人にお送りする書類の発送（郵政公社または運送会社）  
ウ. 採用後、社会保険・労働保険等の手続き（社会保険労務士）  
エ. その他、業務を円滑に進めるために、業務の一部を委託し、業務委託先に対し、必要な範囲で個人情報を提供することがあります。
- (6) その他  
応募者が、ご本人の個人情報について訂正（追加または削除を含みます。以下同様です。）

をご請求される場合、当基金は、ご請求いただいた方がご本人であることを確認したうえで、当該ご請求に理由があると認めるときは、法律の定めるところに従い、当該保有個人情報情報の訂正を行います。

## 5. その他

求める人材像、キャリアイメージについては、以下のサイトに掲載していますので、応募前にぜひご覧ください。

➤ <https://www.jpf.go.jp/j/about/recruit/message/index.html>

また、採用に関するQ&Aを以下のサイトに掲載しています。

➤ <https://www.jpf.go.jp/j/about/recruit/faq/index.html>

\*\*\*\*\*

### **独立行政法人国際交流基金 総務部人事課 職員定期採用係**

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

(5月7日以降：〒160-0003 東京都新宿区四谷 1-6-4)

電話：03-5369-6052 e-mail：JF\_Saiyo@jpf.go.jp HP： <https://www.jpf.go.jp/j/>

\*\*\*\*\*